



平成28年10月20日

滝川市議会議長 水口典一様

滝川市長 前田康吉

厚生常任委員会への説明員の出席について

平成28年10月11日付け滝議第88号で通知のありました厚生常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いいたします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いいたします。

記

滝川市長の委任を受けた者

市民生活部長	舘 敏 弘
市民生活部次長	石 川 雅 敏
市民生活部くらし支援課	横 山 浩 丈
市民生活部くらし支援課係長	大 橋 晃 久
市民生活部くらし支援課主任主事	山 本 亜希子
市立病院事務部長	田 湯 宏 昌
市立病院事務部次長	椿 真 人
市立病院事務部事務課長	堀 勝 一
<del>市立病院事務部事務課長補佐</del>	<del>宮 西 敏 子</del>
市立病院事務部事務課長補佐	梅 津 敏 彦
市立病院事務部事務課係長	渡 辺 弘 行
市立病院事務部事務課主査	高 林 宏 光
市立病院事務部経営管理課長補佐	佐 藤 智 人

(総務部総務課総務係)

## 第15回 厚生常任委員会

日 時 平成28年10月24日(月)

午後1時30分～

場 所 第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶(委員動静)

### 1 所管からの報告事項について

《市立病院》

- (1) 滝川市立病院改革プラン策定スケジュールの見直しについて (資料) 事務課
- (2) 上半期経営状況報告について (資料) 事務課
- (3) ふれあいフェスタの開催結果について (資料) 経営管理課

《市民生活部》

- (4) たきかわ「環のまち」物語年次報告書(平成27年度評価版)について (資料) 暮らし支援課
- (5) 滝の川斎苑改築基本計画(案)の策定について (資料) 暮らし支援課

### 2 その他について

### 3 次回委員会の日程について

○ 閉 会

## 第15回 厚生常任委員会

H28.10.24 (月)13:30～

第一委員会室

開 会 13:30

委員長 それでは、第15回厚生常任委員会を開会いたします。

### 委員動静報告

委員長 委員動静については、水口委員は視察受け入れ対応で遅刻しますが、全員出席です。傍聴は、清水議員、安樂議員、本間議員、井上議員、渡邊議員、関藤議員、東元議員が出席しています。

### 1 所管からの報告事項について

委員長 早速所管からの報告事項に入りますが、(1)、滝川市立病院改革プラン策定スケジュールの見直しについて説明を求めます。

#### (1) 滝川市立病院改革プラン策定スケジュールの見直しについて

田湯部長 行政視察前のお忙しい時期に委員会を開催していただき、本当にありがとうございます。また、9月17日のふれあいフェスタには多くの議員さんにも足をお運びいただき、ありがとうございます。

本日、病院からは3点ご報告させていただきたいと思っています。改革プランにつきましては、市政執行方針では9月までに策定をするということでご報告させていただきました。平成27年度の経営状況が非常に厳しかったことから、経営改善策を含めてより実効性の高いプランを策定したいということから、コンサルを入れて策定作業を進めてきましたが、9月策定というスケジュールの見直しについてご報告させていただくことになりました。策定期間がおくれ、本当に申しわけございませんでした。改革プランの策定期間は見直しをさせていただきますけれども、プランの策定と並行して取り組むべきことは院内の各セクションと協議をしながら進めているところでもございます。

本日は、4月から9月までの上半期の経営状況とふれあいフェスタの開催結果をあわせて報告をさせていただきますので、よろしく願います。

(別紙資料に基づき説明する。)

堀 課 長

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

田 村

総務省からいろいろ言われたようなのだけれども、経営の抜本的な見直しというか、そういうような意見があったのか、それとも経営に対する要望等だけの意見なのか伺います。

それと、とにかく入院させてくれないと不評なのです。これは、この間も手術で入院した方がいるのですが、4日ぐらいで退院とか、それでもうちよっというのだけれどもと言っても、だめですというようなことで、なぜ入院させないのか。今の市立病院の内科の空きベッドはどれぐらいあるのですか。

堀 課 長

まず、1点目は、入院を例えば長くしたいけれども、できないといった部分には、当院は7対1の基準看護をとっているということがございます。平均在院日数というのが限られておまして、これが延びていきますと7対1から外れてしまう、そうすると病院の収益にも大きな影響が出てくるといった中で入院のほうの管理をしているところでございます。

田湯部長

公立病院改革プランの関係なのですが、抜本的見直しなのか、経営だけの意見なのかというご質問です。平成20年から5カ年の計画を一旦つくりまし

て、今回また新たに新公立改革プランということで、3項目基準から地域医療構想の4項目を中心につくりなさいということになっています。ガイドラインに示されたものをベースに今策定をしているというところでございます。抜本的な見直し、5年間、平成32年までの経営状況を示しなさいというようなプランづくりをしようと考えています。

あと、入院させてくれないというご意見、市民の方が言っているという、課長からの補足説明になりますけれども、今当院は平均在院日数18日以内ということで、一応施設基準で進めておりますけれども、地域包括ケア病棟は60日以内ということで、そちらに回っていただける患者については内容を見て回っていただくと、急性期病床から慢性期病床に移る患者様につきましては、説明をして市内の病院に移っていただくと、あくまでも患者さんには説明をしながら対応しているということでご理解をいただきたいと思えます。

田 村

現場を知らない。入院患者のことに至っては、ほかの病院に入院するのなら市立病院に入院したいと、それが7対1だから診療報酬が下がるからまずいのだとか、患者のことを何も思っていない。患者は治してほしくて行くのだから、余り経営にばかりとらわれる前に、患者が果たしてそれで満足しているのかどうか。市内の病院を紹介して、そっちへ行ったからいいという問題ではないでしょう。先生だってわかる。だから、この辺が病院経営に欠落しているところだと思うのです。ですから、もっと患者さんを重視してやらないと、患者さんの不満があるからこういう話が出てくるのであって、もうちょっと治るまでいたいとか、あるいは家庭の事情でもう3日、4日いたいのだと、それでは18日過ぎるからだめですというのは、おかしい。だから、そういうものをもっと考えるのと、病院のふれあいフェスタ、650名とどうカウントしたか知らないけれども、予想としては650名が初めてなので、わからないからこうなったのか、この辺どうのように捉えているのですか。

田湯部長

入院患者さんのお気持ちをちゃんと酌んで対応しなさいということです。地域医療室とも相談しながら対応していきたいと思えます。

あと、ふれあいフェスタの関係は、後ほどまたご説明をさせていただきますけれども、約650名の来院ということで、実際当日はスタンプラリーをしようということで、用紙を来院された方に配っております。それが600名、あとプラス入院患者、あと外だけで帰られた患者さんも含めて650名と。当初は、初めてのイベントなものですから500名という目標を立てた中で650名ということです。

委員 長

ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員 長

それでは、報告済みといたします。

続きまして、(2)、上半期経営状況報告について説明を求めます。

## (2) 上半期経営状況報告について

(別紙資料に基づき説明する。)

渡辺係長

委員 長

説明が終わりました。

質疑ございますか。

舘 内

上の患者数のグラフを見させていただいて、延べ患者数、また1日当たりの患者数、9月の数字が減っているように思うのですが、この理由はわかりますか。

田湯部長

9月につきましては、医者のお夏休みと、あとシルバーウィークが重なって、自分の持っている入院患者さんを退院させるだとか、あと退院を延ばすだとかと

館 内 田湯部長 田湯部長 田湯部長  
 委員 長 委員 長 委員 長  
 副委員 長 副委員 長 副委員 長  
 渡辺係長 渡辺係長 渡辺係長  
 梅津課長補佐 梅津課長補佐 梅津課長補佐  
 委員 長 委員 長 委員 長  
 委員 長 委員 長 委員 長  
 田 村 田 村 田 村

いうことで落ちているというような現状です。  
 そうしましたら、毎年9月は、稼働する日数というか、患者さんと医者が対応する人数というものは自然に減るということで理解してよろしいですか。  
 平均患者数、年を通して多い月、少ない月があります。去年も9月につきましてはほぼ横ばい、おとしについては減少しているというような状況で、年によって違いますけれども、ことしは特にシルバーウィークということと夏休みが重なったということが大きな原因なのかなと考えています。  
 ほかに質疑ございますか。  
 現金収入状況、それから現金支出状況について伺いますが、現金収入の中には未収金なんかは入っていないと思うのですけれども、未収金のことについて一度聞きますけれども、上半期でどのぐらい未収金があるのでしょうか。  
 未収金の部分につきましては、今手元に正確な数字は押さえておりませんけれども、一般的に未収金の部分につきましては、保険基金、連合会等から得られる保険診療報酬部分が多くなっていると思っております。通常でいきますと、ここに書いてある入院、外来の診療収益分、その分の二月分程度がおおむね未収金と思っていただいてもよろしいかと思っております。  
 その2カ月分のおくれのことではなくて、現金収入のことを、窓口の支払いの未収金のことについて伺っています。  
 未収金につきましては、今詳しい資料は持ってきてはいたらないのですけれども、今年度の数値としてということではなくて、例年今時期で100万円を切るぐらいという認識でおりますので、例年の状況ということでご理解をいただきたいと思っております。  
 私の説明が悪いのかもしれないけれども、窓口でいつも皆さん病院に行ったときに払います。その4月から9月までの金額は出ていないですか、そのことを私はお聞きしているのです。  
 患者さんの一部負担金の未収ということですね。数字は出ているのですけれども、きょうこの場に数字を持ち合せていないものですから、大変申しわけございません。後ほど数字をお示しさせていただくということでよろしいですか。  
 後ほど提出していただくことでよろしいですか。  
 (異議なしの声あり)  
 ほかに質疑ございますか。  
 先ほど入院患者を全然無視して軽視しているというような考えで言ったのだけれども、先ほど言った9月の落ち込み、これは話を聞いていたら医師のために患者に我慢してもらっているのだと、そのように聞こえるのだけれども、ほかの病院ではどうなのだろう、シルバーウィークだとか夏休みだとか、ここに集中しないで全体的なバランスでもってとるとか、何かできないのでしょうか。  
 それと、ほかの病院はどうなっていますか。  
 ほかの病院の9月の状況は、まだ把握をしていないのが現状です。うちの病院の場合、外科とか整形についてはチームでというか、医師同士チーム医療ということで対応していますけれども、内科については主治医制をとってしまっていて、自分の患者、このドクターという中でやっておりますことから、なかなかその辺がうまく連携をとれないのが実情になっております。そんなこともあって9月は若干患者さんが減っているというような把握をしているところです。  
 これは恐らく聞いたってわからないだろうから、この近隣のサマータイムの時

期の落ち込みって果たしてあるのかどうか、近隣だけでいいから、調べて教えてください。

委員長 ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みといたします。

(3)、ふれあいフェスタの開催結果について説明を求めます。

**(3) ふれあいフェスタの開催結果について**

佐藤課長補佐 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 質疑なしということで、報告済みといたします。

暫時休憩いたします。

休 憩 14:02

再 開 14:03

委員長 休憩前に引き続き会議を開催いたします。

(4)、たきかわ「環のまち」物語年次報告書について説明を求めます。

**(4) たきかわ「環のまち」物語年次報告書（平成27年度評価版）について**

大橋係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みといたします。

続きまして、(5)、滝の川斎苑改築基本計画（案）の策定についての説明を求めます。

**(5) 滝の川斎苑改築基本計画（案）の策定について**

大橋係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

山 口 まず、大型炉4基なのですけれども、今は3基でやっている。大型というのは、要するに人口が減っていくので、そんなに要らないのではないかと思うのですけれども、どういう基準で大型2基と今までの標準炉2基にしたのかをお聞かせ願いたいと思います。

それから、資料の下のほうに今後の予定とあるのですけれども、完成は平成30年の秋なのでしょうか。

大橋係長 滝の川斎苑、昭和51年6月当初は3基だったのですけれども、昭和56年に1基増設し、今は4基となっております。今後人口減少ということでございますが、高齢化率は上がってきておりますので、現状と同じレベルで利用されることが想定されておりますので、現状どおり4基となっているものです。

山 口 今まで40年近く使っているわけですよ。ということは、また40年ぐらい使うということだとどうしても4基も要るように思えないのです。今までの標準炉ですよ、それが大型で、基数は4基で同じでも、キャパというか、性能が違うと思うのですけれども、炉数を決めたときに、そういうことは考えていないのですか。

石川部次長

基数の話でございます。建築当初、これはれんがでつくっております。れんがでつくって、たしか昭和51年につくったのが標準炉というか、その当時は大きい炉と小さい炉という、そういうような区分けをして、入る幅が小さかったというような作り方をしていたようです。増築したときも、棺おけを入れるときの幅、その幅を、小さい方が多く大きい方も余りいなかったもので、小さいのと大きいのと2つ、2つで運営をしていると、それで大体40年がたったということでございます。今現在火葬炉は、れんがを現場で積み上げるというのではなくて、工場生産になります。大型炉とか小型炉とか、そういう小さなものというスペックはありませんので、同じ大きさのものが一つあって、大きい棺おけもおさめられるようにという形で作られておりますので、今現状は標準と小さいのと大きいのがあるというようなことですが、今度つくるものは通常の棺おけが入るものを用意して、全部入るといような形で標準的に持っていくと、そういうような運営をしたいということで、今の新しくつくっている炉ではそういうような形をやっておりますので、同じ炉を4つ計画するというところで、組合のほうで計画を立てたということでございます。今現在赤平市も入ってやっております。シミュレーションではこれから人口が減ります。減りますが、高齢化率も高くなるということで、平成42年がピークになるかというような計画を聞いております。それで今回、先週ですが、管内の構成市町の課長会議を開催しまして、それで私ども滝川市も構成員の一人として参加して、その説明を受けたということでございます。まだこれは案という形で、これから意見をいただいて今後の内容の参考にしていくというようなことで、11月29日に組合の議会がございます。そのときに議員協議会を開催して、この内容について説明をしたいということで聞いております。

山口  
石川部次長

炉の燃料はA重油ですか。

今現在白灯油を使っております。北海道は一番灯油が多いようでございます。ただ、燃料としては、炉の型式というのですか、燃料にはガスを使っているところもございますし、重油を使っているところもあるということで、それぞれ対応ができるというようなことで聞いております。ただ、今までずっと、こちらで一番多いのは白灯油、灯油ということでございます。

委員長  
田村

ほかに質疑ございますか。

まず、この工事なのだけれども、5年もかけないとできないのか。やるのなら二、三年あればできてしまうのではないだろうか。それと、工場で組み立てて持ってくるという話なのだけれども、これはパテントか何かがあって、つくる工場というか、会社が既に決まっているのか。それと、どういう入札方法をするのか。それと、各市町村の負担割合は何パーセントぐらいずつを予定しているのか。

石川部次長

まず、1点目、工事の関係でございます。ここで出ているのが、どうしても基本計画と実施設計と、それと実際の工事は2年、建築工事は2年でございます。その後に既存の建物を壊してというようなことになって、供用開始は平成33年でございますが、工事自体、本体工事というのは2年だということでございます。

それと、炉のメーカーでございます。炉については、日本で非常に大きい代表的なのは2社ということで、その業者をどのようにするかということ自体はまだこれからということになります。

- あと、負担割合については規約で決まっております、赤平市がたしか平成17年に入ったと思いますが、そのときに規約で決めおります。
- 横山課長 負担の率です。滝川が58.3、赤平が21.2、新十津川が14.2、雨竜町が6.3と規約で定められております。
- 大橋係長 1点修正させていただきます。
- 委員長 先ほどパブリックコメント実施を各市町と説明してしまったのですけれども、中空知衛生施設組合で行うというものです。
- 委員長 ほかに質疑ございますか。
- (なしの声あり)
- 委員長 それでは、報告済みといたします。
- 2 その他について**
- 委員長 それでは、その他について委員から何かありますか。
- (なしの声あり)
- 委員長 事務局から何かありますか。
- (なしの声あり)
- 3 次回委員会の日程について**
- 委員長 次回委員会の日程については、正副委員長に一任願えますか。
- (異議なしの声あり)
- 委員長 以上で第15回厚生常任委員会を閉会いたします。
- 閉 会 14:20